



▲体重を量り記録する



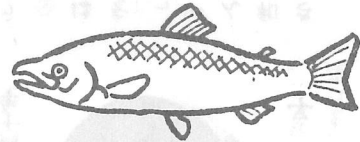
県では、昭和五十二年から栽培漁業の一環として栗山川と夷隅川を対象に稚魚の放流が行なわれています。
五十五年から放流効果があらわれ、二十五匹（栗山川）のそ上が確認されています。
五十六年も、良好な海況条



▲12月7日百匹目を採捕
山倉神社へ奉納

“サケ”回帰

百匹を上回る！

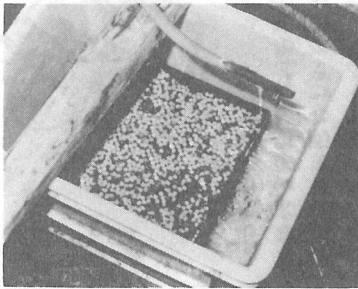


▼採卵
一匹で 2,000～3,000粒

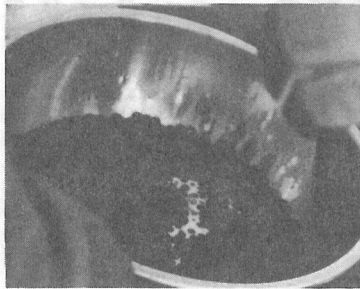
が加わり、すでに百十五匹（昨年十二月十一日現在）のそ上が確認されています。
また、採捕されたサケからは井上さんらの手によって採卵、受精が順調に行なわれています。これからも栗山川へたくさんサケがのぼってくるのが予想されますが、サケは水産資源保護法により、河川での捕獲はできません。
もし、密漁等をした場合は罰せられますので十分注意してください。
栗山川をきれいにし、数多くのサケが戻ってくるようご協力ください。



▼管理受精卵



▼精子をかけ受精させる



俳句

初詣で済みたる脚は女坂

大木静波子

還歴の四肢に張りあり初湯浴み

椎名しげる

一握の髪いとほしく初鏡

鈴木 つね

新婚の寄書き届く初便り

伊藤 定男

元旦や迎壬戌の朝ぼらけ

岩田 慶雄

雑踏に挨拶かわし初詣

越川 雪枝

風ぎて居て九十九里浜初日の出

今井 金吾

短歌

贈られし電子毛布の温もりに

去年今年なる鐘の音を聞く

大木静波子